

# 2022年度第1回町田市行政経営監理委員会

## ～ 資料編 ～

### 未来に向けた公共施設のファシリティマネジメント

～市民みんなの“よりどころ”となる公共施設の経営を目指して～



# ■まちだ〇ごと大作戦18-20+1における取り組み事例 ~公共施設を活用して生み出された地域のつながり~

## ようこそ！鶴川OMOTENASHI大作戦(まちだ〇ごと大作戦No.75)

### 1. 作戦の概要(提案時)

作戦紹介	実施日	2019年5月～2020年4月		場所	鶴川駅周辺エリア								
	団体名	鶴川のインバウンドを考える会(有志グループ)											
	代表者	大川原 久											
	目的	鶴川駅から歩ける範囲に古民家が複数あるという地域特性を活かした散策ルートの開発や鶴川地域の魅力的な場所、店、人、イベントの情報発信によって、地域の方々に自分の住む鶴川地域の魅力を再認識してもらい、地域への愛着を高めるとともに鶴川への関心を高め、来訪者の増加につなげるものです											
実施内容	古民家という地域資源を活かして、新たな賑わいをつくり出します。												
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴川駅周辺の魅力やイベントについて、SNS等によって情報発信を行います。</li> <li>・駅から近いところにある古民家を活かした散策ルートの開発を行います。</li> <li>・香山園を含む4つの古民家が連携した鶴川で日本文化を一日楽しめるイベントを10月初旬の週末3日間で実施します。</li> </ul>												
スケジュール	年	2018			2019			2020					
	月	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12
	準備				打ち合わせ								
実施						イベント 10/5～7			情報発信 イベント 時期未定				
	市民・地域団体・企業等						市役所						
つながり	鶴川地区町内会・自治会連合会 武相荘、可喜庵、みんなの古民家、 町田市茶道協会、民間事業者					観光まちづくり課 公園緑地課 文化振興課							
	参加目標人数			350人			参加予定人数			50人			
求める支援	■ 情報発信		□ 人材・ノウハウ		■ 場・機会		■ 資金						
	広報媒体での周知・PR				香山園でのイベント開催 と屋内の利用		チラシ・ポスター・WEB作成等、情報発信のための費用、イベント保険等						

### 2. 作戦の実施結果



#### 実施した内容

- ・2019年10月5日、6日、7日の日程で、香山園・可喜庵・武相荘・みんなの古民家の4拠点同時開催で、音楽、地域伝統芸能、歴史探検ウォーキング、お茶会、飲食などを楽しむイベント「鶴川OMOTENASHI祭り2019」を開催しました。
- ・春に「鶴川OMOTENASHI祭り2019」を振り返る講演会を開催しようと計画しましたが、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、開催を断念しました。

#### 参加・参加者数

- 【参加者数】 計 4,860人 以下は各拠点の3日間の累計  
香山園：2800人、可喜庵：650人、武相荘：760人、みんなの古民家：650人
- 【参加者数】 計 85人  
運営委員：20人、運営ボランティア65人
- 【情報発信】 Facebook：フォロワー数330人、投稿記事50件  
チラシ・ポスター：15,000枚 市民センター、新聞折込等で配布

# ■まちだ〇ごと大作戦18-20+1における取り組み事例 ～公共施設を活用して生み出された地域のつながり～

## 子供たちの夢を応援するプロジェクト(まちだ〇ごと大作戦No.113)

### 1. 作戦の概要(提案時)

作戦紹介	実施日	2019年11月4日(月・祝)		場所	町田市教育センター								
	団体名	町田市青少年健全育成会忠生第6地区委員会											
	代表者	一戸 雅行											
	目的	<p>木曽地区の幼稚園から高校生までを対象に、子ども達の歌や踊りやダンスなどの特技を地域の人に発表する機会を学校の枠を超えて設け、子ども達の夢を応援するプロジェクトです。</p> <p>子ども達のやりたいこと、できることの発表を通して、子ども達の成長を地域で見守り、世界で活躍できる人材を育てる取り組みです。</p>											
実施内容	日時	2019年11月4日 9時～12時半											
	場所	教育センター 体育館											
実施内容	内容	子ども達が、自ら持つ特技(歌、踊り、ダンス、お笑い、演奏等)を地域の人に発表する。											
	出演者	木曽地区の幼稚園、小・中・高校生											
実施内容	観客	境川団地自治会、上宿町内会、木曽南自治会を中心とした木曽地区住民											
	スケジュール	2018		2019		2020							
スケジュール	準備	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12
	実施				11/3 実施				11/4 実施				11月 実施
つながり	市民・地域団体・企業等	境川団地自治会、上宿町内会、木曽南自治会、TSUTAYA町田木曽店				市役所 市民協働推進課、児童青少年課 教育総務課、指導課							
	参加目標人数	300人		参画予定人数		30人							
求める支援	<input checked="" type="checkbox"/> 情報発信 <input type="checkbox"/> 人材・ノウハウ <input type="checkbox"/> 場・機会 <input type="checkbox"/> 資金	広報媒体での周知・PR											

### 2. 作戦の実施結果



2019年11月4日(月・祝)に、町田市教育センター体育館にて開催しました。

#### (出演団体)

- 実施した内容
- ・マリ・モダンバレースタジオ
  - ・相模原カルチャーセンター古淵店
  - ・町田消防少年団
  - ・木曽中学校 吹奏楽部、JRC部
  - ・町田総合高校 ダンス部MD2、和太鼓部、演劇部、軽音楽部
  - ・ムギーズ
  - ・L☆ien
  - ・POP'N FLOWER
  - ・宗風館

#### 参加・参画者数

企画・従事者 約50名  
出演者 約120名  
観覧者 約120名

## ■環境配慮行動の他自治体事例(福岡県久留米市「『ZEB』の推進」①)



水と緑の人間都市  
**久留米市**  
Kurume City

本文△ サイト内検索

検索方法

暮らし・届出    子育て・教育    健康・医療・福祉    観光魅力・イベント    創業・産業・ビジネス    計画・政策

### ＞ ZEB化改修の内容

1. 主な導入設備  
太陽光発電(52.1キロワット)、蓄電池(89.2キロワットアワー)、断熱(床裏断熱材吹きつけ、LOW-E真空ペアガラス)、LED照明、高効率パッケージエアコン、全熱交換換気扇、高効率受変電設備、エネルギー計測装置(BEMS)
2. 総事業費  
205,043千円(環境省補助金:130,000千円【補助率4分の3】)  
地方負担分に防災・減災国土強靱化緊急対策事業債を充当(充当率100%、交付税措置率50%)
3. 効果等
  - ▶ 温室効果ガスの大幅削減  
温室効果ガスの削減量は、平成30年度と比較して約80%(53二酸化炭素トン)の削減を見込んでいます。
  - ▶ 太陽光・蓄電池の導入により、災害(停電)時の業務継続が可能となります。
  - ▶ エネルギーの削減率及び削減額  
建築物の省エネ基準値からのエネルギー削減率106%を達成(再生可能エネルギーを除くと67%削減)電気やガスの使用料を年間で約290万円削減できる見込みです。
  - ▶ 財政負担の低減(通常の空調改修と本事業の比較による財政効果)  
20年間で約42,000千円経費を削減できる見込みです。
  - ▶ ZEB化によるPR効果  
BELS認証取得のほか、ZEB普及啓発のため、リーディング・オーナーに登録しました。リーディング・オーナーとして、公開している導入計画□

ZEBとは...  
「Net Zero Energy Building(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)」の略称。快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物。  
(参考:環境省ホームページ「ZEB PORTAL(ゼブポータル)」)

環境部庁舎「ZEB」達成イメージ



項目	値	削減率
エネルギー消費量基準値	715 MJ/年㎡	-
エネルギー消費量設計値	432 MJ/年㎡	106%
再エネ削減	283 MJ/年㎡	39%
省エネ削減	480 MJ/年㎡	67%
ZEB基準	345 MJ/年㎡	50%

出典:福岡県久留米市ホームページ



# ■環境配慮行動の他自治体事例(福岡県久留米市「『ZEB』の推進」②)

ZEB2020L-00001-G

## ZEBリーディング・オーナー 導入実績 ①

 SERA Nagasaki Environment of Resources Association  
一般社団法人 環境省環境資源協会

オーナー名	福岡県久留米市	登録年度	2021
建築物の名称	久留米市環境部庁舎		

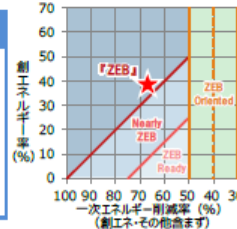


### 建築物のコンセプト

本建築物は、久留米市環境部の庁舎であり、平時は環境政策等を執行する事務所として、災害時は災害廃棄物処理等の拠点施設となる。本事業は、建築物の脱炭素化と防災機能強化の同時実現をコンセプトとしており、平時は、省エネと再エネ電力で、エネルギー使用量を大幅に削減し、停電時には蓄電池から電力を供給するなど、施設機能の向上を目指す。なお、既存の公共建築物では全国初となる『ZEB』認証を取得した。

### ZEBランク

『ZEB』



### 建築物概要

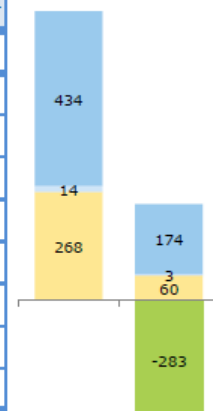
都道府県	地域区分	新/既	建物用途
福岡県	6	既存建築物	事務所等
延べ面積	階数(塔屋を除く)	主な構造	竣工年
2,089 m <sup>2</sup>	地下 -	地上 3階	RC造
省エネルギー認証取得			
✓ BELS	『ZEB』	CASBEE	
LEED		ISO50001	
その他			
一次エネルギー削減率(その他含まず)			
創エネ含まず	67 %	創エネ含む	106 %

技術	設備	仕様
建築省エネルギー技術 (パッシブ)	外皮断熱	外壁 ウレタンフォーム断熱材
		屋根 ポリスチレンフォーム断熱材
		窓 Low-E複層ガラス(真空層)
		遮蔽 -
		遮熱 -
	自然利用 -	
その他 -		
設備省エネルギー技術 (アクティブ)	空調	機器(熱源) パッケージエアコン/全熱交換器
		システム -
	換気	機器 DCファン
		システム -
	その他	技術

技術	設備	仕様
設備省エネルギー技術 (アクティブ)	照明	機器 LED照明器具
		システム 在室検知制御/明るさ検知制御/タイムスケジュール制御
	給湯	機器 -
		システム -
	昇降機(ロープ式) -	
	変圧器 アモルファス変圧器	
効率化	コージェネ	機器 -
		システム -
	再エネ	機器 太陽光発電
		システム 全量自家消費
	蓄電池	機器 リチウムイオン蓄電池
その他技術	機器 -	
	システム -	
BEMS	システム 負荷制御技術/チューニングなど運用時への展開	

### 省エネルギー性能

一次エネルギー消費量(MJ/年m <sup>2</sup> )	BPI/BEI		
	基準値	設計値	
PAL*	470	418	0.89
空調	433.82	173.40	0.40
換気	13.52	2.19	0.17
照明	267.29	59.30	0.23
給湯	0.00	0.00	-
昇降機	0.00	0.00	-
コージェネ発電量	0.00	0.00	-
創エネ	0.00	-282.71	-
その他	142.37	141.82	-
合計	857	94	0.11
創エネ含まず合計	857	377	0.44



ZEB実現に資するシステムのみ記載しています。

出典:環境省ホームページ「ZEB PORTAL(ゼブポータル)」

# 町田市の中学校給食センターの整備

出典：町田市議会令和4年3月定例会行政報告第24号資料

町田市では、「つくりたて」の温かい給食を中学生に届けるため、各学校への配送が「概ね30分以内」にできる位置に、1箇所あたり3～5千食程度を供給できるセンターを配置することとし、各センターの土地利用の条件を鑑みながら、適切な規模と配送エリアを設定しました。



**【鶴川エリア】 金井スポーツ広場**  
(テニスコート・ゲートボールコート)  
対象校 \* 鶴川中・鶴川第二中・薬師中・真光寺中・金井中 (全5校)  
最大食数 \* 約3,000食(2025年度:2,341食)  
グラウンドで行われる地域のスポーツや催しの連携を深め、地域交流の拠点性を高めます。



**【堺エリア】 ゆくのき学園給食室**  
対象校 \* 堺中・ゆくのき学園 (小・中)  
最大食数 \* 約850食 (ゆくのき学園小学校分を含む)  
堺地区における新たな学校づくりの取組を通して、堺地区の特性に即した新たな給食提供方式を検討します。それまでの間、堺中学校の全員給食は、近隣のゆくのき学園調理室で調理し配送する方式で実施します。

**【町田忠生小山エリア】 旧忠生第六小学校**  
対象校 \* 町田第一中・町田第二中・町田第三中・木曾中・山崎中・忠生中・小山田中・小山中 (全8校)  
最大食数 \* 約5,000食 (2025年度:4,019食)  
食とスポーツの機能が連携した「健康増進関連拠点」として、団地の魅力向上を図ります。

**【南エリア】 東光寺公園調整池上**  
対象校 \* 南大谷中・南中・成瀬台中・南成瀬中・つくし野中 (全5校)  
最大食数 \* 約3,500食 (2025年度:2,970食)  
公園や恩田川沿いで憩い、活動する人々が気軽に立ち寄ることができる交流の場とします。

※用途地域制限については、緩和型特別用途地区制度を適用し、周辺環境に十分に配慮しながら、工場用途の立地を特別に可能にする、新たな都市計画を導入する予定です(2022年度手続予定)。鶴川地区は時限的な施設となるため、建築基準法上の例外許可を予定します。

鶴川エリアの給食センターを設ける金井スポーツ広場は、新たな学校づくりに伴う新小学校を建設候補地であるため、給食センターは2035年度までの利用を予定しています。利用終了時点での生徒数や、新たな学校づくりの進捗状況などを踏まえ、改めて、給食センターの配置及びエリア設定を再編する予定です。

## 【めざす姿①】 魅力的で美味しい給食を中学生たちに届ける

## 【めざす姿②】 地域とつながりあい 新しい価値を生み出しつづける

**2025年度までにすべての中学校に温かい給食を届けます！**  
できるだけ早く、市内すべての中学生に、温かく美味しい給食を届けられるように、スピード感をもって整備を進めています。中学生たちと一緒に、また地域の皆さんとご相談しながら、給食センターの整備をはじめ、全員給食実施までのさまざまな準備を進めています。

	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
<b>町田忠生小山エリア</b>	校舎解体工事 2022年10月頃～  事業者公募※ 2022年度8～3月	設計・建設工事 2023年度4月～2024年度1月		給食提供開始 2025年度4月
<b>南エリア</b>	事業者公募※ 2022年度8～3月	人工地盤工事 2023年9月頃～  設計・建設工事 2023年度4月～2025年度6月		給食提供開始 2025年度9月
<b>鶴川エリア</b>	事業者公募 7月～12月	設計・建設工事 2022年度1月～2024年度6月	給食提供開始 2024年度9月から約10年間	
<b>堺エリア</b>		改修設計・工事 2023年度7月～ 2024年度8月	給食提供開始 2024年度9月	
<b>各中学校</b>	中学校配膳室改修設計・改修工事 2022年度7月～2024年度3月 (2期に分けて実施)			
<b>その他の準備</b>	生徒たちと一緒に全員給食の準備			
	町田市学校給食問題協議会 学校給食を通じた食育・給食費の改定等の検討			
	地域住民と共に健康づくり活動の準備・相談			

**7千名を超える中学生からもらった一緒に取り組みたいことのアイディア**  
食器・箸・おぼんを選ぶ、建物の名前を決める、献立づくり・新メニューを一緒に開発する、ロゴマークやキャッチコピーを考える

※2022年1月に市内中学校生徒にWEBアンケートを実施した結果

## ■「施設予約システム」の他自治体事例(神奈川県平塚市)



### 【平塚市公共施設予約システム】キャッシュレス決済による施設使用料のお支払いが可能となります

最終更新日：2022年5月27日

#### キャッシュレス決済の導入について

人と人の接触を減らす新しい生活様式に向けた対応として、利用者の皆様の利便性向上と感染症拡大の抑制を目的に、平塚市公共施設予約システムから予約するスポーツ施設や文化施設の施設使用料などを各種のキャッシュレス決済でお支払いできるようになります。

#### サービス開始日

令和4年3月1日から

#### 対象施設

平塚市公共施設予約システムから予約する各種施設  
※文化施設については附属設備も対象

#### 施設ごとのキャッシュレス決済の種類

##### スポーツ施設

平塚市公共施設予約システムからインターネット上でクレジットカードまたは二次元コード決済によるキャッシュレス決済（オンライン決済）ができます。  
※窓口でのお支払いは現金のみとなります

##### 【対応ブランド】

- ・クレジットカード・・・JCB、Visa、AMERICAN EXPRESS、Mastercard、Diners Club
- ・二次元コード決済・・・PayPay、LINE Pay

##### 文化施設（平塚市中央公民館、ひらしん平塚文化芸術ホール）

施設窓口でクレジットカード、電子マネーまたは二次元コード決済によるキャッシュレス決済ができます。

※オンライン決済には対応していません

##### 【対応ブランド】

- ・クレジットカード・・・Visa、Mastercard
- ・電子マネー・・・WAON、nanaco、iD、楽天Edy
- ・交通系電子マネー・・・Suica、PASMO、Kitaca、TOICA、manaca、ICOCA、SUGOCA、nimoca、はやかけん ※「PiTaPa」はご利用いただけません
- ・二次元コード決済・・・au PAY、PayPay

##### 施設等利用承認書（使用許可書）の交付と領収書の扱いについて

体育施設の使用料をキャッシュレス決済でお支払いいただいた方には、利用当日に管理人から「体育施設等利用承認書（使用許可書）」をお渡しいたしますが、体育施設等利用承認書（使用許可書）下段の領収書欄には領収印の押印がないものとなります。

また、文化施設の使用料をキャッシュレス決済でお支払いいただいた場合は、領収印付きの領収書ではなく「納付確認書」が交付されます。

領収印付きの施設等利用承認書（使用許可書）が必要な方は窓口にて現金でお支払いいただくようお願いいたします。

出典：平塚市公式ホームページ



## ■「包括管理委託」の他自治体事例(兵庫県明石市)

### 全ての自治体におススメできる日常修繕を含む施設包括管理 (兵庫県明石市)

#### 取組概要

- 安全性の向上・長寿命化・効率化を目的に  
学校・幼保・市民センター等132施設の点検・清掃・修繕等をまとめて委託
- 全ての日常修繕(概ね130万円未満)を含む包括管理としては 全国初の事例
- 元請事業者はマネジメントを担い 実作業は多くの協力会社(地元中心)が行う

#### 取組の効果

- 主に人件費の削減(7名減)により4,800万円/年のコスト削減効果(右上表)
- 市の技術職員と専門事業者のノウハウにより適切な判断でスピーディに修繕
- 受託者から 情報共有システム や 短中期修繕計画 など付加サービスを受託
- 対象施設の満足度が向上し 関係者のコラボによる修繕が実現(右下写真)
- 点検結果や工事修繕履歴など施設マネジメントに必要な情報が自動的に集まるしくみにつながる(構築中)

⇒公共施設マネジメントの土台となるため 全ての自治体におススメ!

#### 創意・工夫した点

- 「仕事の余裕」に留まらず「職員減」となるコスト削減を果たすため日常修繕を取り込み関係部局長の絆も頼って調整
- サウンディングで適正なマネジメント経費の水準を把握
- 「内製化」で安価で柔軟な修繕を実現

#### 他団体へのアドバイス

- 修繕を含めることで発見した不具合に早期対応でき包括の効果が高まります
- 受託者と協議をしながら進めれば地元事業者の仕事が減ることもありません
- 先進自治体のコピーで十分な成果が期待できます

人口 299,333人 (R2.1.1現在)

担当 財務室財務担当

項目	実績額	導入後
委託料	135,000	120,000
修繕費	220,000	208,000
職員人件費	80,000 10名相当	24,000 7名減
マネジメント経費	-	35,000
合計	435,000	387,000
コスト効果	-	48,000

包括管理導入によるコスト削減効果



運動場の排水不良対策に先生が参加



# 「多面的な指標に基づく施設の評価」の他自治体事例(武蔵野市「公共施設カルテ①」)

## 中央コミュニティセンター

### 基本情報

所在地	中町3-5-17
所管部課	市民部市民活動推進課
設置根拠	武蔵野市コミュニティ条例
開設年度	昭和56(1981)年度
3層構造の位置づけ	コミュニティレベル (コミュニティセンター)
施設概要	市内に19カ所あり、「コメセン」という名前で親しまれ、市民の誰もが自由に利用できる、市民運営の多目的施設であり、各地域のコミュニティ活動や情報発信の拠点として利用されている。多目的室、会議室、学習室、調理室など様々な部屋があり、目的に応じて利用できる。



基準日 令和3年3月31日  
大分類 文化・市民生活  
中分類 コミュニティセンター  
小分類 コミュニティセンター

### 土地情報

敷地面積合計	2,347.10 ㎡
うち借地面積	0.00 ㎡
土地取得費	21,257,400 円
財産区分	行政財産

### 建物情報

建物総床面積	1,353.18 ㎡
うち施設専有面積	1,353.18 ㎡
所有状況	市所有
財産区分	行政財産

### 運営情報

運営形態	指定管理
指定管理者	中央コミュニティ協議会
指定管理期間	令和2年度～令和6年度
開館時間	平日 9:30～21:30 土日祝日 9:30～21:30
定期休館日	水曜日 年末年始(12/29～1/5)

### 法規制等

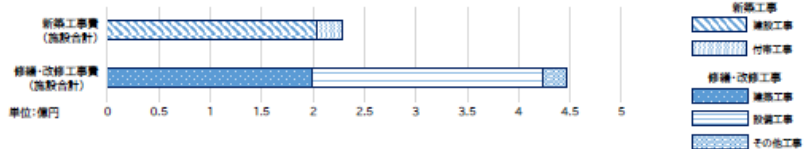
用途地域	第一種住居地域
建築率	60%
容積率	200%
防火指定	準防火地域
高度指定	17.23m 第2種高度地区
日影規制	4h-2.5h/4m

### 類型別施設整備計画

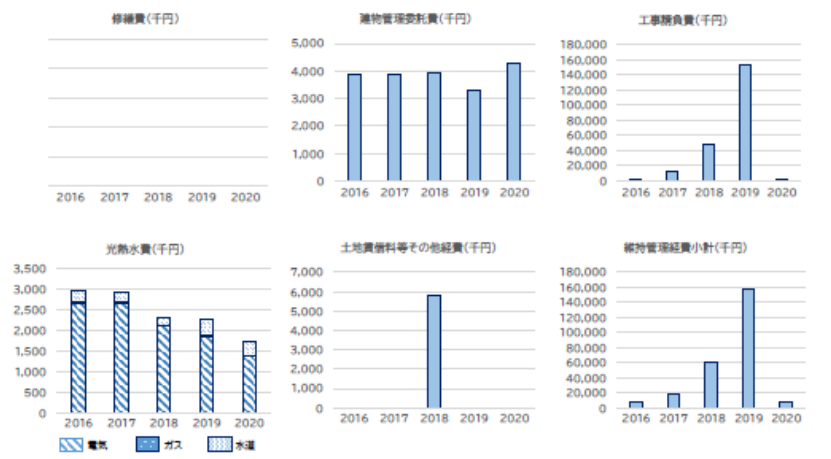
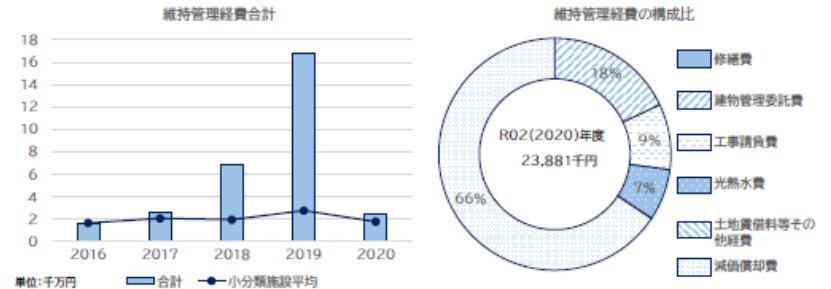
計画名称	未策定
計画期間	
今後の投資的経費	

### 修繕・改修工事(累計・履歴)

工事種別	件数	累計額	年度	件名	工事費(千円)
建築工事	43 (件)	199,467 (千円)	R02(2020)	中央コミュニティセンター非常用照明装置修繕工事	495
			R02(2020)	中央コミュニティセンター屋上防水修繕工事	400
設備工事	47 (件)	223,841 (千円)	R02(2020)	中央コミュニティセンター裏側サッシ廻り等シーリング修繕工事	352
			R01(2019)	中央コミュニティセンター受付カウンター改修工事	1,190
その他工事	22 (件)	23,995 (千円)	R01(2019)	中央コミュニティセンター3階学習室床更新工事	918



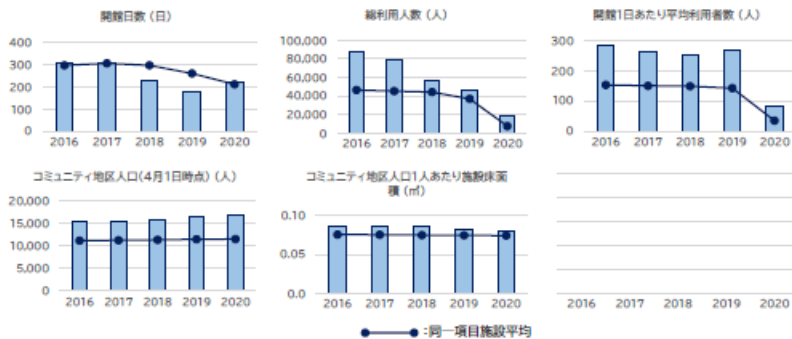
施設名称	中央コミュニティセンター				
基準日	令和3年3月31日				
維持管理経費(千円)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	R02(2020)
修繕費	0	0	0	0	0
建物管理委託費	3,858	3,853	3,957	3,300	4,299
工事請負費	2,064	12,141	48,739	153,257	2,184
光熱水費	2,638	2,653	2,092	1,837	1,356
ガス	34	30	23	18	9
水道	259	244	195	400	349
光熱水費計	2,931	2,927	2,310	2,255	1,714
土地賃借料等其他経費	12	12	5,844	13	13
維持管理経費小計	8,865	18,933	60,850	158,825	8,210
減価償却費	6,959	6,959	7,111	9,348	15,671
計	15,824	25,892	67,961	168,173	23,881



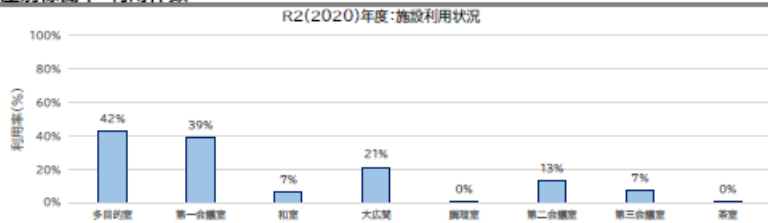
出典:武蔵野市公式ホームページ

# 「多面的な指標に基づく施設の評価」の他自治体事例(武蔵野市「公共施設カルテ②」)

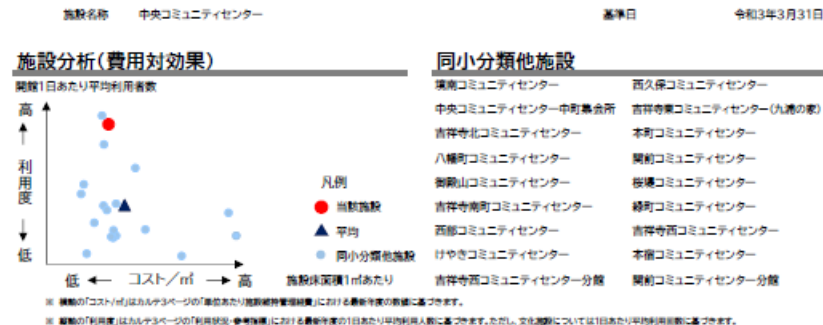
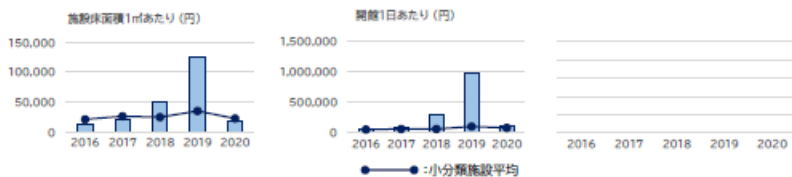
施設名称	中央コミュニティセンター		基準日	令和3年3月31日		
<b>利用状況・参考指標</b>	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	R02(2020)	
開館日数 (日)	306	306	224	175	223	
総利用人数 (人)	87,234	79,149	56,375	46,585	18,238	
開館1日あたり平均利用者数 (人)	285.1	258.7	251.7	266.2	81.8	
コミュニティ地区人口(4月1日時点) (人)	15,558	15,556	15,811	16,638	16,732	
コミュニティ地区人口1人あたり施設床面積 (㎡)	0.09	0.09	0.09	0.08	0.08	



## 部屋別稼働率・利用件数



単位あたり施設維持管理経費	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	R02(2020)
施設床面積1㎡あたり (円)	11,692	19,133	50,221	124,278	17,646
開館1日あたり (円)	51,700	84,609	303,385	960,970	107,077



## 棟情報

棟名称	中央コミセン	
構造形式	RC造	
階数	地上	3
	地下	-
延床面積(㎡)	1,353.18	
建設年度	1974	
経過年数	46	
残耐用年数	14	
耐震化状況	適合	
入口段差解消	○	
バリアフリー	エレベーター	×
	バリアフリースイレ	○
子育て支援	授乳・おむつ替えスペース	×
	おむつ交換台	○
太陽光発電	×	
新築工事費(千円)	建設工事	202,890
	付帯工事	25,500
	合計	228,390
㎡あたり単価(千円)	建設工事	150
	付帯工事	19
	合計	169

## 備考

# 町田市5カ年計画22-26 経営改革プラン「改革項目3-2 市有財産を利活用する」

改革番号 3-2-1 公共施設再編の推進

新規

## 目的

- ・市民ニーズに対応した公共サービスの維持向上
- ・民間とのコラボレーションによる新たな価値創出と財政負担の軽減

## 事業概要

- 公共施設再編計画の推進
  - ・町田市公共施設等マネジメント委員会<sup>※</sup>において、公共施設再編に向けた取り組みの進捗管理を行い、短期再編プログラム<sup>※</sup>を着実に推進します。
  - ・2027～2036年度に実施する公共施設の再編内容を定める中期再編プログラムを策定します。
- 2つの保健施設の集約
  - ・健康福祉会館と保健所中町庁舎の集約を、民間とのコラボレーションにより実施します。
- 教育センターの複合化
  - ・教育センター、子ども発達センター、わくわくプラザ町田の複合化を、民間とのコラボレーションにより実施します。

目標（計画値等）	現状値	2022	2023	2024	2025	2026
1 短期再編プログラムの取組達成率	23.7% (2020年度)	66%	66%	68%	68%	100%
2 中期再編プログラムの策定	-	-	-	-	検討	策定
3 2つの保健施設の集約	検討	基本計画 検討	基本計画 検討	基本計画 策定 公募準備	公募準備	公募実施
4 教育センターの複合化	検討	基本計画 策定	公募準備	公募実施	設計・建設 工事	設計・建設 工事

所管課 企画政策課／経営改革室

改革番号 3-2-2 公共施設の管理運営手法の最適化

新規

## 目的

- ・公共施設の適正かつ効率的・効果的な維持管理の推進

## 事業概要

- 公共施設の中期修繕計画<sup>※</sup>の改定
  - ・公共施設の予防保全の工程を示した中期修繕計画を改定し、維持管理費用の縮減を図ります。
- 新たな管理運営手法の導入
  - ・公共施設の情報管理や営繕業務において、デジタルを活用した効率的・効果的な管理運営手法等を導入します。

目標（計画値等）	現状値	2022	2023	2024	2025	2026
1 中期修繕計画の改定	-	調査・検討	改定	-	-	-
2 施設管理運営手法の導入	-	調査	検討	施設情報の 統合準備	施設情報の 統合	導入
3 三次元化した建物情報モデル（BIM <sup>※</sup> ）の作成システムの導入	-	調査・検討	試験的 導入	仮運用	全面導入の 検討	全面導入の 可否の決定

所管課 営繕課／市有財産活用課

出典：「町田市5カ年計画22-26」